

# 訪問看護ステーション 通信

令和3年 11月

訪問看護リハビリステーション ほのか浅口

いつもお世話になっております。ここ1~2週間で一段と気温が下がり、朝晩の冷え込みが厳しくなりましたね。利用者様のお宅に伺うときの始まりは寒くなりましたねの挨拶です。皆様 体調はいかがでしょう？寒くなると、以前訪問診療に同行させていただいていたドクターが、利用者様にしょうが紅茶で体を温めるようすすめられていたのを思い出します。体温を上げることで免疫力もupするそうです。皆さんもしょうが紅茶を飲まれてみてはどうでしょうか？



理学療法士の横田 徹（よこた とおる）と申します。これまでは外科・整形外科の急性期病棟に勤務し、今年の10月よりほのか浅口に入職しました。ご利用様が安心してリハビリを受けられるよう、接遇に気をつけ、知識や技術を向上させていきたいと思っております。よろしく願いいたします。



**訪問看護  
リハビリステーション  
ほのか浅口**

〒719-0104

浅口市金光町占見新田455-3

**TEL : 0865-54-0207**



株式会社ハート & クリエーション

<https://honoka-hc.co.jp>



# 令和3年 11月号



## ～読書の秋～

秋と言えば、食欲、スポーツ、読書と様々なことを思い浮かべます。  
今回はほのか浅口スタッフの思い出に残る「読書の秋」の本をご紹介します。どうぞよろしくお願いします。

秋の夜長にみなさんは何をされていますか？

若いころは本が大好きで毎日のように読んでいましたが、ここ数年は老眼により本から少し離れています…。

元々ミステリー小説は苦手な私に、本好きなALSの利用者様が面白いからとすすめてくださったのが東野圭吾の「白夜行」でした。その後しばらくは東野圭吾作品にどっぷりはまり、寝る間もおしんで読んでいました。

それとは別に思い出深い作品のひとつに「野ブタをプロデュース」という本があります。内容は少し違いますが亀梨君と山Pでドラマ化されている有名な作品です。当時不登校であった娘にプレゼントした本でどこに行くのにも大切に持ち歩いていた頃がありました。私と娘にとっては大切な思い出の1冊です。皆様にも思い出のある本はありますか？

三木



今回は思い出の本ということで、いくつか自分が読んでいた本やエッセイ、詩集などを読み返してみました。最近は小説よりも教科書や参考書などばかり読んでいて、ゆっくりと心を休めている時間が少ないことに気がついて、本を読む時間を改めて作ろうと考えています。

今回、僕が思い出の一冊として挙げさせていただくのは高村光太郎の詩集です。元々、美術系の大学に通っていた時、自分の作品作りが思うようにいかないときに読んでいたものです。特に「牛」の詩は何度も音読を繰り返して、どんなに思うよういかなくても、一歩ずつ、ゆっくりでもでもいいからしっかりと進めるよう、自分自身を整える一句として今でも思い出に残っています。忙しい時はなかなか時間もとりにくいとは思いますが、詩の一句なら少しの時間でも読むことができます。皆さんも是非、お気に入りの一句を探してみてください。

猪木

